

大川目小学校創立150周年記念事業だより



～笑顔で語る大川目の歴史・笑顔でつなぐ大川目の未来～

久慈市立大川目小学校
創立150周年事業だより
令和5年度 第1号
令和5年6月27日発行
児童数 64名
(文責:創立150周年実行委員会事務局)

大川目小学校は令和5年度に創立150周年を迎えました！

久慈市立大川目小学校は令和5年度に創立150周年を迎えました。明治6年8月15日、陸中国九戸郡大川目村字三日町に、第五番小学校(大川目学校)として開校して以来、時代の波を乗り越えながら数多くの人材を輩出し、輝かしい伝統を築いてきました。



創立150周年という大きな節目を迎えるにあたり、地域の皆様を中心とした「大川目小学校創立150周年記念事業実行委員会」(小倉利之会長)を組織しました。本実行委員会では、150年の歴史を振り返り、本校を温かく見守り、支え、育てていただいた地域の皆様に感謝するとともに、大川目小学校や大川目地区が益々発展することを願い、記念すべき年をお祝いするための事業の準備を進めております。

創立150周年記念だよりの題名「スマイル」は、今年度の児童会スローガン「スマイル」から取りました。大川目小学校の子どもたちはもちろんのこと、地域の皆様も笑顔になるような事業を行っていきたくと考えております。みんなが「スマイル」になるような事業は、大川目小学校にかかわる皆様のご協力・ご支援なしで成し遂げることはできません。どうか、本事業の趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

こんな記念事業を予定しています

☆航空写真撮影(4月14日、5月17日実施)

☆クリアファイル作成

☆創立150周年記念大運動会(5月21日実施)

☆記念樹(桜を予定しています)

☆テント(行事で使用するもの)購入

☆記念式典(11月10日実施予定)

☆自衛隊音楽隊によるコンサート

(1月27日実施予定)

創立150周年記念大運動会
記念セレモニー 全校剣舞



ごあいさつ

大川目小学校創立150周年記念事業実行委員会
委員長 小倉利之

新たな時代への第一歩は「地域とともに」

去る令和5年3月23日第1回実行委員会において、図らずも当実行委員長にご推挙を頂きました。誠心誠意、頑張りますので皆様のご支援をよろしく申し上げます。

さて、創立を明治9年から明治6年に改めましたのは、奇しくも私がPTA会長を拝命していた平成10年であります。小野寺俊美校長先生とともに教育委員会と郷土史研究家の方との協議が多かった記憶があります。ですから130周年は平成15年に開催し、記念事業としてプロのオカリナ奏者「小比類巻とし子」さんの演奏会や「東京多摩交響楽団」のオーケストラの招致など、記念事業の「音楽」は、子ども達とPとTとAの距離を縮め、繋ぎ、奮い立たせ、優しさも育ててくれました。

学校懇談会は「根っこの会」と改名し、「親父の会」もこの辺りです。環境整備や郊外活動などにも積極的にお父さんたちが出てくれるようになりました。

150周年といえど歴史の節目。諸先輩方の並々ならぬご努力と輝かしいご功績があつて今があります。150年目の節目を在校生と共有できる喜びに感謝しております。

刻一刻と進む時間・新しい道「羅針盤」を見誤る事なく進む子ども達のために、今できることをしてあげたいと思います。

歴史・文化・電気の発祥でもあり多くの著名人や政治家・文化人を輩出している大川目小学校OB。微力ではありますが、先人たちの魂が脈々と受け継がれている「大川目っこ」のここに残る記念事業、新しい道の「第一歩」と位置づけ、地域の皆様と共に成長していければと思います。趣旨をご理解いただきご賛同とご協力をよろしく申し上げます。

大川目小学校創立150周年記念事業実行委員会

委員長	小倉 利之			
副委員長	三上 昌明	大下 勝盛	高谷 大悟	
顧問	山口 健一	野田 勝久	堀畑 俊明	瀧澤まゆみ
実行委員	村田 親夫	米内 勇喜	切金 勇次	山口 和子
	兼田 康広	下道 幸樹	大矢内和美	生田 勇一
	藤森 崇浩	野田 史生		
事務局	丹 康浩(大川目小学校 副校長)			

(敬称略)

大川目小学校の歴史（大川目小学校学校沿革誌より）

- 明治 6年 8月15日、陸中国九戸郡大川目村字三日町に、第五番小学校（大川目学校）として開校する。
- 明治 9年 公立大川目小学校と改称。
- 明治15年 公立上大川目小学校と改称。
（小学校令改正により大久保小学校を廃し、上大川目小学校に統合する）。
- 明治20年 上大川目尋常小学校と改称。
- 明治21年 元大久保小学校学区内に山口簡易小学校を設立し、本校と分離する。
- 明治25年 小学校令改正実施により、大川目尋常小学校と改称。学級は2学級となる。
- 明治30年 本校舎改築のため、校地の位置を変更。
（大川目村大字大川目第6地割82番地字三日町）
- 明治33年 馬内小学校は大川目小学校の分教場となる。
- 明治37年 高等科設置、大川目尋常高等小学校と改称、修業年限3年とする。
- 明治40年 小学校令改正により、尋常科の修業年限を6年とし、高等科は2カ年とする。
- 明治41年 義務教育延長により、尋常科は3学級、高等科1学級となる。校地増設
- 大正 3年 馬内分教場を根井分教場と改称する。
- 昭和 8年 校地を拡張し、根井分教場新設落成する。
- 昭和10年 本校創立60周年記念式典を挙げる。
- 昭和16年 大川目国民学校と改称する。
- 昭和22年 教育制度改革（6・3制）に伴い大川目小学校と改称し、大川目中学校と当分の間二部授業を行う。
- 昭和23年 根井分教場が小学校に昇格し、本校より分離する。
- 昭和25年 本校創立75周年記念式典を挙げる。
- 昭和29年 大川目小学校・山口小学校を廃し、同年10月16日大川目村立大川目小学校を新設開校する。
久慈市制施行により、久慈市立大川目小学校と改称する。
- 昭和30年 新校舎落成移転する。
- 昭和31年 校庭に桜の苗木30本植樹。
- 昭和33年 児童数553人で校史上最多。学級数12。
- 昭和38年 大川目小学校・山口小学校の統合10周年記念式典を挙げる。
- 昭和51年 創立100周年記念式典・祝賀会挙げる。
記念事業・環境整備（花壇・緑化・観察池）・カラーテレビ12台寄贈・記念誌発行・記念碑建立等

- 昭和52年 特別教室棟3月落成。
（理科室・音楽室・図画工作室・家庭科室・視聴覚室・図書室）
落成祝賀会挙げる。
- 昭和60年 根井小学校と大川目小学校が統合する。
大川目小学校同窓会より新校旗を寄贈される。
新校舎（現校舎）への入校式を行う。
- 平成 8年 大川目小学校創立120周年記念式典・祝賀会。記念誌発行。
- 平成15年 大川目小学校創立130周年記念演奏会



旧校舎



植樹された桜は地域の皆様に大切にされ、今では子どもたちを見守るように大きく育ちました。